

**令和2年度  
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（水産）】**

**専門論文試験課題**

**<課題>**

我が国の水産業において、漁業生産量の減少、新規就業者の不足・高齢化、経営コストの増大といった状況の下、漁業・養殖業の競争力を強化し、意欲のある担い手が能力を發揮できる環境を創出するために、近年、著しい技術革新が計られているICTやIoT、AI、人工衛星、ロボットといった先端技術を有効に活用した「スマート水産業」の社会実装に向けた取組が進められています。

本県の水産業は、かつお一本釣りやまぐろ延縄といった沖合漁業、まき網に代表される沿岸漁業、ブリ類を主とする海面養殖業を中心に成長してきましたが、これらを将来にわたって維持・拡大していくためには、「勘と経験」に頼りがちな従来の漁業からの転換が必要です。

そこで、本県における「スマート水産業」の実現に向けたICTやAI、ロボット技術等の具体的な活用方法と、それを導入することによる効果について述べなさい。